

平成 27 年度森林・林業白書の作成方針（案）

1. 白書の構成

(1) 「平成 27 年度森林及び林業の動向」

(ア) トピックス

白書の冒頭で、平成27年度における森林・林業に関する特徴的な動きを抜粋して紹介・解説する。

(イ) 特集章

第Ⅰ章を特集章とし、特定のテーマについて詳細な分析等を行う。

(ウ) 通常章

第Ⅱ章以降は、「森林の整備・保全」、「林業と山村」、「木材産業と木材利用」、「国有林野の管理経営」、「東日本大震災からの復興」の章立てとし、森林・林業全般について現状・課題の分析等を行う。

(2) 「平成 27 年度に講じた森林及び林業施策」、「平成 28 年度に講じようとする森林及び林業施策」

現行の「森林・林業基本計画」（平成23年7月閣議決定）を踏まえた項目立てとする。

2. 特集章のテーマ

国産材供給量は平成14年以降は増加傾向にあり、資源面でも十分な供給余力があるものの、我が国の林業は小規模な森林所有者が多数を占めること等から、需要に応じた安定的・効率的な供給体制が構築できていない状況にある。

このため、「平成27年度森林・林業白書」の特集章のテーマを「国産材の安定供給体制の構築に向けて（仮称）」とし、国産材供給への期待やその現状を記述した上で、国産材の安定供給に向けた様々な取組を紹介し、原木供給力の増大や川上・川中のマッチングの課題を整理することとしたい。

なお、政府の「骨太の方針」（本年6月30日閣議決定）等においては、

豊富な森林資源を循環利用しつつ、CLT等の新たな木材需要の創出や国産材の安定的・効率的な供給体制の構築等を推進するとされているところである。加えて、林野庁では次期「森林・林業基本計画」の検討を開始したところであり、「国産材の安定供給体制の構築」を主要検討課題の一つとしている。

3. 今後の予定

今回を含め計3回の施策部会で検討を重ねていただき、林政審議会での諮問・答申を経て、来年5月の閣議決定・公表を目指す。(別添)

(以上)

(別添)

平成27年度森林・林業白書のスケジュール(案)

- 平成27年8月26日 第1回施策部会
- ・作成方針(案)の検討
- 11月 第2回施策部会
- ・平成27年度森林及び林業の動向
(構成と内容(案)、主要記述事項(案))
- 平成28年2月 第3回施策部会
- ・平成27年度森林及び林業の動向(原案)
 - ・平成28年度森林及び林業施策(原案)
- 4月 林政審議会
- ・平成27年度森林及び林業の動向(案)
 - ・平成28年度森林及び林業施策(案)
(諮問・答申)
- 5月 閣議決定・国会提出・公表

◇森林・林業基本法（昭和三十九年法律第六十一号）

（森林及び林業の動向に関する年次報告等）

第十条 政府は、毎年、国会に、森林及び林業の動向並びに政府が森林及び林業に関して講じた施策に関する報告をしなければならない。

2 政府は、毎年、前項の報告に係る森林及び林業の動向を考慮して講じようとする施策を明らかにした文書を作成し、これを国会に提出しなければならない。

3 政府は、前項の講じようとする施策を明らかにした文書を作成するには、林政審議会の意見を聴かなければならない。

森林・林業白書の特集の内容（過去10年）

年度	テーマ名・内容
平成17年度	<p>【森林】国民全体で支える森林 <u>森林の整備・保全の必要性と、その推進のため、国や地方公共団体に加え、林業・木材産業関係者、消費者、企業等、国民が互いに協力することの重要性</u>について記述。</p>
18年度	<p>【林業・木材産業】健全な森林を育てる力強い林業・木材産業を目指して <u>健全な森林の育成、木材利用の推進が求められる中で、活動が停滞している林業・木材産業の再生の必要性と国産材利用推進の取組</u>について記述。</p>
19年度	<p>【林業】林業の新たな挑戦 <u>森林に対する国民の期待の高まりと林業の役割、森林整備を担う林業・山村の現状、効率的、安定的な林業経営に向けた新たな取組の重要性</u>について記述。</p>
20年度	<p>【地球温暖化防止】低炭素社会を創る森林 <u>地球温暖化の状況と地球温暖化防止に果たす森林の役割を紹介。地球温暖化防止に向けた取組や低炭素社会の実現に向けた取組</u>について記述。</p>
21年度	<p>【林業】林業再生に向けた生産性向上の取組 <u>林業の生産性向上に向けた取組の現状と課題、今後の方向性等</u>について記述。</p>
22年度	<p>【木材】木材の需要拡大－新たな「木の文化」を目指して <u>木材需要拡大の背景とこれまでの取組を整理。公共建築物の木造化、木質バイオマスのエネルギー利用、木材輸出の3点に焦点を当てて、最新の動向</u>について記述。</p>
23年度	<p>【震災復興】東日本大震災からの復旧・復興に向けて <u>東日本大震災による森林・林業・木材産業の被害状況・復旧状況を紹介。海岸防災林の復旧・再生、新たなまちづくりに向けた木材の活用、エネルギー安定供給に向けた木質バイオマスの活用、原子力災害からの復興</u>について記述。</p>
24年度	<p>【森林・林業】森林・林業の再生と国有林 <u>森林・林業の再生に向けて進めている取組を整理。国有林野事業の今後の展開方向</u>について紹介。</p>
25年度	<p>【森林】森林の多面的機能と我が国の森林整備 <u>森林の多面的機能の発揮に果たす森林整備の役割</u>について記述。<u>我が国の森林整備を巡る歴史を振り返り、森林整備推進のために関係者が果たすべき役割など今後の課題</u>を整理。</p>
26年度	<p>【木材産業】森林資源の循環利用を担う木材産業 <u>木材産業の役割と概要等</u>について記述。<u>我が国の戦後の木材需給の変遷と木材産業の対応を振り返り、木材産業をめぐる最近の動向と将来に向けて取り組むべき課題</u>を整理。</p>

これまでの森林・林業白書（林業白書）の特集について

年度	テーマ名
昭和47年度	国民生活と森林・林業、国有林野事業の課題
48年度	森林資源をめぐる課題
49年度	林業の発展と山村地域の課題
50年度	林業の発展と林家の課題
51年度	林業の地域的発展をめぐる課題
52年度	木材需給と林業発展の課題
53年度	林業の発展と森林資源の整備をめぐる課題
54年度	地域林業の担い手育成をめぐる課題
55年度	木材需給構造の変化と流通加工部門の対応
56年度	林業経営の現状と林業発展の課題
57年度	森林管理の現状と緑資源確保の確保
58年度	林政の推進と国有林野
59年度	国産材時代への挑戦
60年度	森林資源整備の新たな展開を目指して
61年度	試練にたつ日本林業とその活力回復に向けて
62年度	新たな林業技術体系の構築
63年度	豊かな国民生活のための森林づくり
平成元年度	国民のニーズにこたえる木材の供給と国内森林資源の有効活用
2年度	森林管理とその担い手のあり方
3年度	森林の管理と山村の活性化
4年度	地球環境を守る森林・林業
5年度	森林と木の時代を目指して －森林・林業、木材産業の30年の回顧と展望－
6年度	森林文化の新たな展開を目指して
7年度	林業、木材産業の活性化に向けて
8年度	木材の消費・流通構造と国産材供給の課題
9年度	国有林野事業の抜本的改革
10年度	木材の利用推進と森林の適切な整備 －木材を軸とした循環型社会の構築に向けて－
11年度	世紀を超えた森林整備の推進 －安全な国土と豊かなくらしの実現に向けて－
12年度	これまでの林政の推移と新たな基本政策の方向
13年度	森林と国民との新たな関係の創造に向けて
14年度	世界の森林の動向と我が国の森林整備の方向
15年度	新たな「木の時代」を目指して
16年度	次世代へと森林を活かし続けるために
17年度	国民全体で支える森林
18年度	健全な森林を育てる力強い林業・木材産業を目指して
19年度	林業の新たな挑戦
20年度	低炭素社会を創る森林
21年度	林業再生に向けた生産性向上の取組
22年度	木材の需要拡大－新たな「木の文化」を目指して
23年度	東日本大震災からの復旧・復興に向けて
24年度	森林・林業の再生と国有林
25年度	森林の多面的機能と我が国の森林整備
26年度	森林資源の循環利用を担う木材産業

注：特集は昭和47年度から掲載